

令和7年度予算と保険料率について

《令和7年度保険料率》

①健康保険料率：8.5% ②介護保険料率：1.8% (いずれも前年度より変更なし)

全国の健保組合では、団塊の世代の後期高齢者到達により、高齢者医療費を支える拠出金等負担が増加し、約5割を超える健保組合が赤字となっています。

当組合では、毎年財政検証を行い、翌年度の保険料率の見直しを図っておりますが、医療の高度化や高額薬剤等の保険適用により医療費全体が増加傾向にある中、令和5年度からは高額医療の発生により給付費が年々増加しています。また、令和6年度以降、被保険者数は減少していく見通しであり、保険料収入の減少から今後さらに厳しい財政運営となることが懸念されますが、令和7年度は赤字予算ではあるものの、別途積立金は約7億円を維持できる見通しであることから、保険料率の改定は行わず、健康保険料率8.5%、介護保険料率1.8%で据え置くこととなりました。

加入者の皆様におかれましても、年1回の定期健康診断の受診など健康管理と疾病予防に努めて頂き、医療費節減になお一層のご理解とご協力を頂きますよう、お願い申し上げます。

【令和7年度収入支出予算】

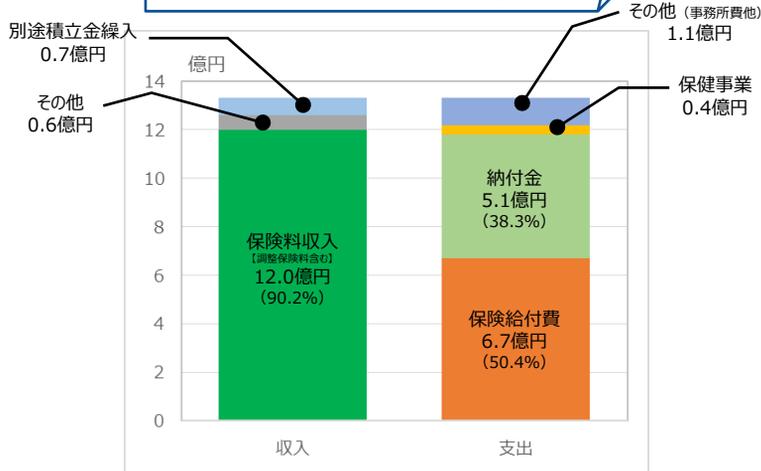
経常収支は、経常収入1,186,541千円、経常支出1,278,163千円、差引額は▲91,622千円の赤字となる見通しです。

保険料収入は前年度より減少となりますが、収入不足については別途積立金から繰入を行います。

支出は、保険給付費（医療費）は、医療の高度化や高額薬剤等の保険適用により増加傾向にある中、納付金はR5年度前期高齢者給付費が概算時より低く着地したことから減少しました。

健康保険（一般勘定）

被保険者数・・・1,942人
平均標準報酬月額・・・459,287円
総標準賞与額（年間合計）・・・3,589,597千円



介護保険（介護勘定）

保険料徴収者数・・・1,276人
平均標準報酬月額・・・492,059円
総標準賞与額（年間合計）・・・2,542,335千円



一般勘定 経常収支

(経常収入) 1,186,541千円 - (経常支出) 1,278,163千円 = ▲91,622千円

経常収支とは、総収入から調整保険料、積立金からの繰入金、その他収入を除き、総支出から財政事業拠出金等の支出額を除いた額の差引額となります。